

『長良川のアユと河口堰 川と人の関係を結びなお す』（農文協）の紹介

蔵治 光一郎

東京大学大学院農学生命科学研究科 教授

長良川の アユと河口堰

川と人の関係を結びなおす

蔵治光一郎 編

長良川のアユと河口堰

川と人の関係を
結びなおす

蔵治光一郎 編

農文協

農文協



9784123451239



1921234010001

ISBN978-4-12345-123-9

C1234 9000CE

定価0,000円 (本体0,000円+税10%)



川の 堰



かつて、川には、
人々の生活が息付いていた。
夏の水辺は、水遊びの
子供達でいっぱいだった。
私達は、この国の自然に
生かされ、文化を育み、
時を繋いで来たのでは
なかったか。

山口保

(木彫工房メリーゴーランド)

いつのまにか川は、
ただの水路となり、
山は無価値なものとして、
打ち捨てられてしまった。
いずれ「バチ(罰)が当たる」と、
祖母の言葉を
思い出した。

山ロー郎

(サカナクション)

世界に誇る清流長良川の水文化

日本三大清流に数えられる長良川。岐阜県の大日ヶ岳から伊勢湾まで延長166km、流域人口80万人を抱えながら中流域まで清流を保ち、名水百選、日本の水浴場88選（河川で唯一）に選定。1995年の河口堰運用前は本州の大河で唯一本流にダムと堰のない川と言われ、山・川・海の連続した生物圏の上に豊かな水文化が育まれてきた。



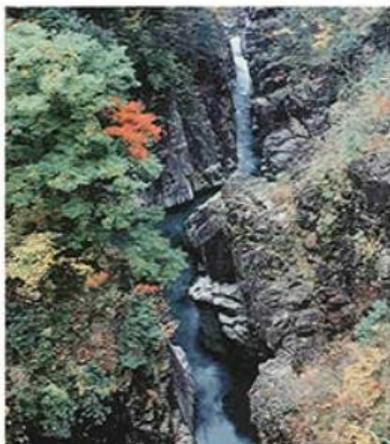
かますだに
長良川源流、吠谷。ブナの根元から
清冽な水が湧き出す（1992年、磯貝
政司撮影、以下I）



河岸段丘の水田（郡上市大和町）。平坦な段丘面は
農業に適し、住民の生活のよりどころ（1990年、I）



夏の吉日、若鷺から月に那比込まで
郡上八幡の子供は川で育つ（1987年、I）



板取川の川浦谷。「奥美濃の黒部」「男一人を川浦にやるな」と言われる險谷 (1990年、I)



コウゾの寒ざらし。美濃和紙の原料のコウゾを水にさらす。美濃市の板取川 (1990年、I)



アユ割解禁。8月12日正午のサイレンが合図。洞戸村（現関市）の板取川 (1990年、I)



河原めし。お盆にご先祖様を迎え、家族で食事をする伝統行事。美濃市下牧の板取川 (1990年、I)



アユ釣り解禁（関市）。夏の間、長良川のアユを求めて全国の太公望が訪れる (1992年、I)



郡上竿をつくる福手福雄氏。流れの激しい長良川上流部でのアユ釣りのために生まれた竿 (1992年、I)



郡上ビクをつくる嶋数男氏。丈夫で魚が形崩れせず鮮度も落ちないと評判のビクだった (1991年、I)



郡上八幡に伝わる郡上水染。鯉のぼりの寒ざらし。「冷たい水ほど色が引き締まる」と渡辺庄吉氏 (1990年、I)



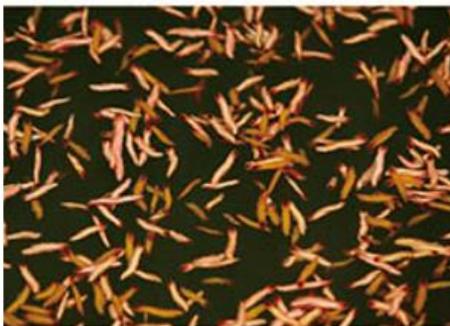
モクズガニ。秋、海に下り産卵する。蟹味噌や内子（卵巣）が濃厚で、鍋や味噌汁に入れるとコクが出る（2017年12月11日、Y）



幻の魚、アユカケ。海と川を行き来するが、落差のある魚道や堰は通上できない（2015年9月11日、岐阜市、Y）



ペンケイガニ。下流域の川岸に穴を掘って生活。長良川では激減（2018年9月23日、揖斐川、M）



イトメの生卵群泳。釣りでバチ抜けと呼び、スズキなど魚類が捕食に集まる。河口堰滞水水域では消滅（2009年11月18日、揖斐川6.8 km地点右岸、長野浩文撮影）



長良川では激減したスズキ（上）、シラウオ（中）、マハゼ（下）、いずれも揖斐川産（M）

長良川の生き物たちと河口堰

アユをはじめ、海と川を回遊する生き物、汽水域で生活する生き物は、長良川の大切な恵みであり、川の生物圏の連続性、持続可能性の指標でもある。河口堰はその営みを分断した。



長良川のアユ（2010年6月2日、岐阜市、向井貴彦撮影、以下M）



孵化直後のアユ仔魚。産卵10日前後で孵化して海に下るが、河口堰の影響で大半の仔魚が海に下れず死の（2013年11月18日、岐阜市、M）



アユの産卵。オスとメスが砂を巻き上げながら産卵する（2018年11月5日、岐阜市、伊藤義弘撮影）



「サツキマスは長良川のお姫様やて」と川漁師は言う。肉は淡いピンク色で美味（1992年、L）

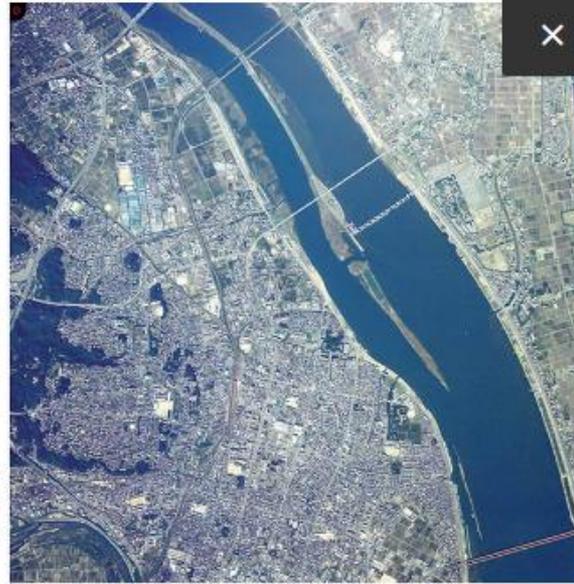


サツキマス。河口堰運用後に激減（2014年5月6日、世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ、M）

長良川河口堰。下流側から撮影（『長良川下流域生物相調査報告書2010』、以下N）



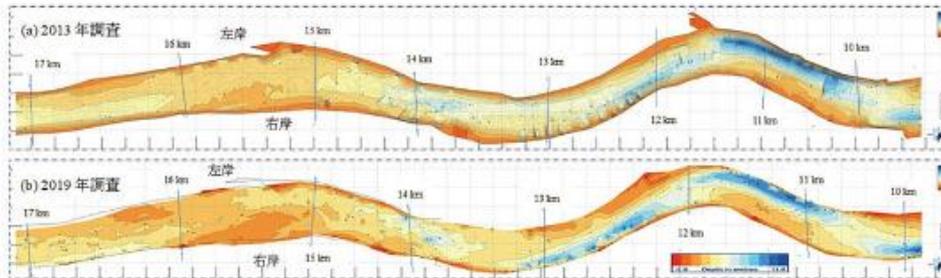
上空から見た河口堰。左が揖斐川、堰下流で長良川と合流。右上が木曽川（2000年10月、国土地理院空中写真）



河口堰運用前のヨシ群落（河口から6.2 km）。満潮時は魚類の隠れ場や採餌場、干潮時はカニ類の活動の場（伊勢大橋より撮影、N）



河口堰運用後の同一地点。ヨシ群落は消滅、左端の植物群落はオギとヤナギ（植物群落を撮るためカメラは少々左向き、N）



2013年と2019年の河床比較（河口10～17km）。水深が深い部分（青）はより深く、浅い部分（橙）はより浅く変化。塩水遡上を止めるマウンド（盛り上り）再形成が進む（愛知県）

出版の趣旨

- 日本三大清流に数えられる長良川は、本州の大河で唯一本流にダムと堰のない川と言われ、山・川・海の連続した生物圏の上に豊かな水文化が育まれてきた。
- アユをはじめ海と川を回遊する生き物、汽水域で生活する生き物は長良川の大切な恵みであり、川の生物圏の連続性、持続可能性の指標だが、河口堰はその営みを分断した。
- 2015年、長良川の天然アユは岐阜市で準絶滅危惧種に指定(後に削除)、「清流長良川の鮎」が世界農業遺産に認定された。
- 本書は、生物多様性の喪失が地球の限界を超えている時代に、川の生物圏を再生し、社会や経済の基盤として復権させ、川と人の関係を結びなおす可能性を探る。

経緯

- 愛知県長良川河口堰最適運用検討委員会とは別の企画
- 執筆者は、委員会委員、連続講座の講師、第38回岐阜シンポジウム（2022年3月21日）登壇者などから、適任と考えた方に依頼した。
- 専門書ではなく読み物、想定読者は高校生以上

第38回岐阜シンポジウム

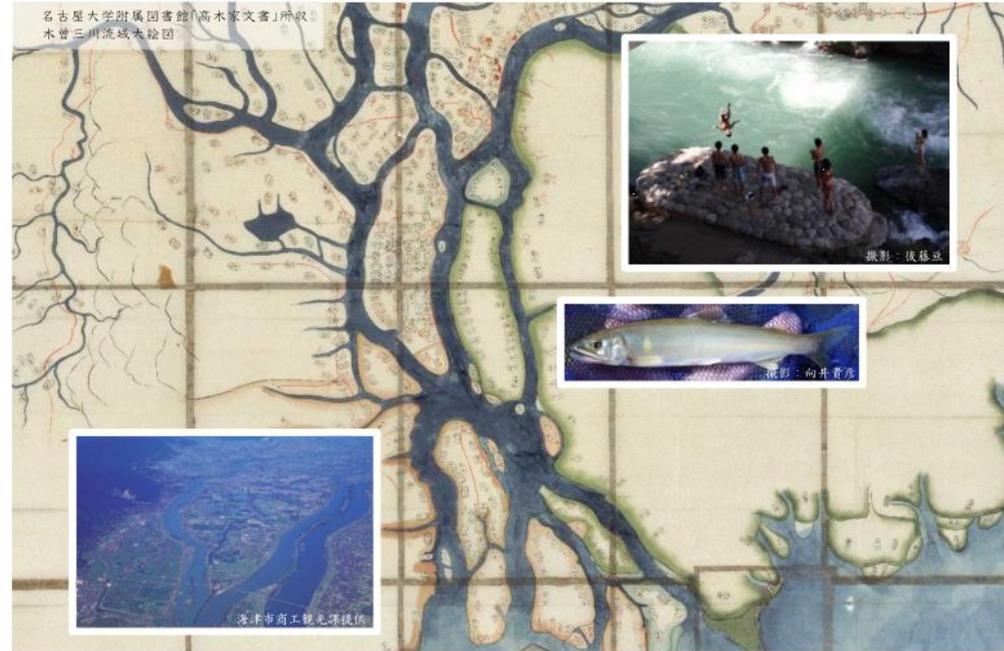
木曾・長良・揖斐

歴史、自然、地域づくりを考える



岐阜大学

参加無料
要事前申込



名古屋大学附属図書館「高木家文書」所収
木曾三川流域大絵図



撮影：後藤豆



撮影：向井晋彦



落津市商工観光課提供

日時 2022年3月21日(月・祝) 13:30～16:40

会場 岐阜大学 講堂 岐阜市柳戸1番1 岐阜大学内

同時オンライン配信あり ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、会場参加を取りやめ、完全オンラインでの開催とする可能性があります。

お申し込み：岐阜大学研究推進部研究企画課 岐阜シンポジウム事務局

3/18(金)
まで

電話 ☎ 058-293-3339

メール ✉ gfsympo@gifu-u.ac.jp

件名：3/21岐阜シンポジウム申込み

本文：氏名・連絡先(メールアドレスと電話番号)

参加方法(会場参加 もしくは

インターネット視聴参加)

主催：岐阜大学

後援：岐阜県

企画：岐阜大学図書館学術アーカイブス企画運営室

協力：名古屋大学附属図書館



シンポジウムWebサイト <https://www.gifu-u.ac.jp/contribution/sympo/sympo.html>

同時開催・企画展

無料

写真展：長良川風土の
45年間の記録

◆期間 3月7日(月)～4月1日(金)

◆会場 岐阜大学図書館2階
エントランスホール

※図書館の開館日のみ開催。
3月21日(月・祝)は開催します。



全体構成

1. 長良川の恵みとなりわい今昔
2. 長良川のアユと生態系に起きていること
と
3. 再び、いのち^{さきわう}幸ふ川へ
 - － 河口堰という試金石
4. 河口堰の最適運用に向けて

● 目次

口絵

はじめに――世界農業遺産、日本三大清流のアユは語る 蔵治光一郎

SDGsとアユと河口堰(関連図)

木曾三川(木曾川、長良川、揖斐川)流域図

1 長良川の恵みとなりわい今昔

長良川の鵜飼の奥深い世界 岩佐昌秋

最後の1艘で守る夜川網漁 中山文夫

80歳現役漁師が見た「ばばちい川」 大橋亮一

憧れの川漁師、知られざる川の世界 平工顕太郎

【付記】その後の長良川 平工顕太郎

2015年10月31日
第1回「清流長良
川流域の生き物・
生活・産業」連続
講座の記録をもと
に編集

2 長良川のアユと生態系に起きていること

なぜ天然アユが準絶滅危惧種に？ 高橋勇夫

長良川のアユと河口堰 古屋康則

【コラム】長良川のアユを支える揖斐川のアユに異変 古屋康則

河口堰による生態系の変化 向井貴彦

【コラム】過剰な放流は魚類を減らし、自然を失わせる 向井貴彦

温暖化が長良川にもたらしたもの 原田守啓

3 ふたたび、いのち幸ふ川へ——河口堰という試金石

長良川に「健全な水循環」を取り戻す 蔵治光一郎

なぜ今、河口堰の「最適運用」なのか 小島敏郎

気候変動と大地震に備える 今本博健

長良川治水の「これまで」と「これから」 今本博健

河口堰開門で塩水はどこまで遡上するか 藤井智康

伊勢湾の漁業・環境と河口堰 鈴木輝明

社会経済構造の変化に対応した水の使い方 富樫幸一

異常渇水にも対応できる新しい水利用秩序へ 伊藤達也

4 河口堰の最適運用に向けて

世界の河口堰の先進事例に学ぶ 武藤 仁・青山己織

【コラム】福原輪中の塩害を防ぐ「アオ取水」 伊藤達也

おわりに――近くて遠い川と人の関係を結びなおすために 蔵治光一郎

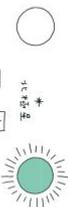
源流遊行絵図

【付録】それが「長良」やがね 大橋亮一・尾瀬妃那実

主な参考文献

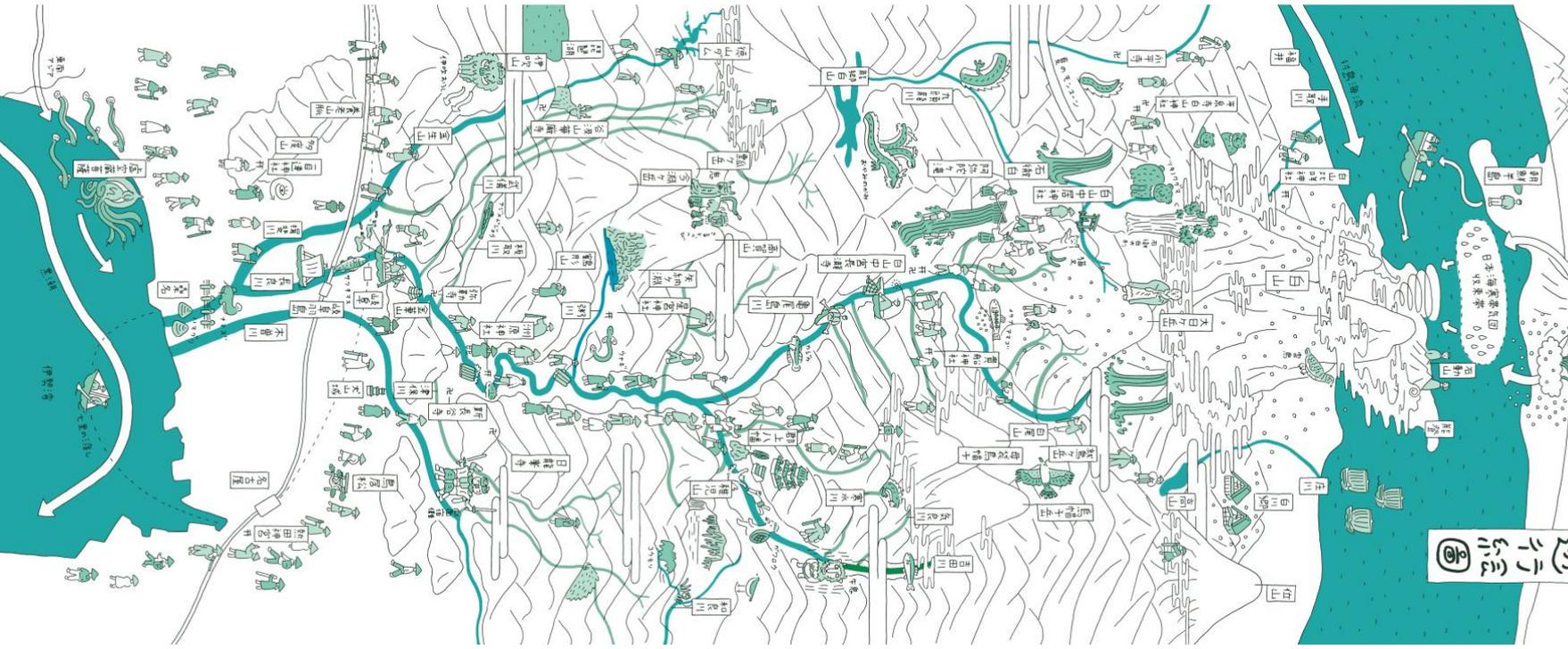
年表――世界の環境問題と長良川

執筆者一覧



北緯 35° 42' 00" 東經 139° 45' 00"

源流遊行地圖



日本海軍海軍第四
砲台跡

赤松(伊勢)

十國國田

白旗山

赤松山

赤松川

赤松川

赤松川

赤松川

赤松川

赤松川

赤松川

赤松山

赤松川

赤松川

赤松川

赤松川

赤松川

赤松川

赤松川